

例会報告



17-18 年度会報月間写真 お城シリーズ
1 月 犬山城ライトアップ③ 新井典仁

第 2630 地区 岐阜県 濃飛分区 創立 1966 年 1 月 15 日

- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988
大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 米澤 久二
- 幹事 鴻野 幸泰
- 会報委員長 新井 典仁

<会長の時間>



卓球の全日本選手権が 1/21 に決勝がありまして、男子では 14 歳の張本選手が、女子では 17 歳の伊藤選手が優勝しました。若い人の活躍にはいろんな理由があるかと思いますが、私はボールの影響が多分にあると思います。石川選手がさる番組のインタビューで述べていましたが、「ボールの材質が変わりスピニングがわかりにくくなった。」以前にお話ししたように材質がセルロイドからブラチックから変わりました。これはセルロイドが発火するため、とお話しました。結果、若干ですがボールの回転数が減ったわけです。この影響がプレースタイルにも出ていたと思います。石川選手や水谷選手はいわば旧世代でして、古いボールで頂点を極めたと思います。新世代はとにかくボールが速い、卓球台から離れず早いラリーが続くようになりました。環境の変化により全く新しい卓球が始まりました。

さて 1/20 田中正躬副幹事と地区の会員増強セミナーに参加して来ました。高山西 RC では現在大村委員長を先頭にして会員増強に努めている所です。会員増強委員会を中心に原則的に月一回定期的に作戦会議を行って候補者選定や声掛けをしていただいております。セミナーの資料の一部をお手元に配布しています。今回の会員増強セミナーのポイントは女性の入会勧誘が一つのポイントでした。私が驚いたのは当初 RC が男性会員しか認めていなかったことです。しかも 1989 年とやっと最近約 30 年前に女性会員の入会を認めたということです。先ほどお話しした卓球のボールの材質の変化ではありませんが、RC の取り巻く環境も新しい時代に入ってきていると思います。資料にありますように世界の動きは女性の社会参加を促しております。RC も例外ではないと思います。

今すぐ女性会員の入会には至らないかもしれませんが、女性会員の勧誘に踏み出す必要があると思います。門前年度には女性会員がいるクラブになっていければいいなと思います。10 年後 20 年後の高山西 RC の将来を考えて会員増強に力を入れていく必要があります。会員増強はクラブの活性化にとってすぐ効果のあるものではありません。ジワーッと出てくるものだと思います。効果は何年もしてから出てくるものだと思います。単年度の話ではなく継続的に会員増強を図っていく必要があると思います。未来への投資としての効果があると思います。

なお、どちらかと言うとベテランの会員の皆様は若い人達とは付き合う世代が違うと、我関せずのところがありますが若い世代への贈り物として紹介等の活動をお願いします。

<幹事報告>

<例会変更>

- 可児 …… 2月1日(木)は、積雪による例会場クローズのため
グリーン・キャメロット に 変更
- 2月8日(木)は、非開催日のため 休会
- 2月22日(木)は、非開催日のため 休会

<受贈誌>

- 高山 RC (会報)、下呂 RC (会報)、美濃加茂 RC (会報)、
- 台北市松年福祉會(玉蘭荘だより)、(株)フジマキネクタイ
- (2018-2019 ロータリーカタログ)

<出席報告>

区分	出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
前々回	33名	3名	36名	40名	90.00%
本日	26名	-	26名	40名	65.00%

<本日のプログラム> S. A. A

田中 武

本日は国際ロータリー2630地区 直前ガバナーの 劔田廣喜 様をお迎えして卓話を頂きます。そもそもは当クラブチャーターメンバーであられたお父様の豊市さんのクラブ連続出席記録を、この度ご子息である廣喜さんが中央クラブにおいて更新されたという事で、その報告に訪問したいとお申し出を受けたものです。折角直前ガバナーにお越しいただくのにビジターというのも勿体無いという事で、無理をお願いし卓話頂く運びとなりました。



皆さん良くご存じですので、略歴はカットまんでの紹介とさせていただきます。昭和 24 年 4 月 18 日のお生まれ。名古屋学院大学卒業で、現在 株式会社高橋商店取締役会長。公職としては岐阜県計量協会 会長等多数。ロータリー歴は 1991 年、高山中央ロータリークラブのチャーターメンバーであり、国際ロータリー2630 地区 2016-17 年 ガバナーです。劔田さん、よろしくお願ひ致します。

国際ロータリー第 2630 地区 直前ガバナー 劔田 廣喜 様

皆様こんにちは。今から丁度 26 年前貴クラブへ故郷際一男さんと同行いただき父の葬儀の会葬お礼にお伺いしました。その時に当時の事務局の下田さんからあなたのお父さんはこれまで、26 年 6 ヶ月皆出席でしたと言われました。当時私はロータリーに入会してまだ 2 年目位でしたので、26 年 6 ヶ月皆出席に大変驚き皆さんの前で雲の上の数字であると申し上げた記憶があります。たぶんその時から 26 年 6 ヶ月皆出席は、無意識に私の中の目標になっていたんだと思います。その 26 年 6 ヶ月皆出席を昨年 12 月で達成する事ができました。今月から父の記録を超える事となります。其のご報告に親クラブへお伺いした次第であり、変わらぬご指導をお願いに参りました。

昔から、例会出席には三つの条件があるといわれております。其れは自己の職業、家庭、健康、この三つがまあまあ旨くいっていることです。そういう意味では大変ありがたい事であると思っています。うちのクラブでは逆手にとって、ロータリーに出席すれば企業はうまくいって、皆出席を続けておられる会員もいます。将に最も出席するもの最も報いられるであります。



例会報告

ロータリーは例会出席から始まり、ロータリーの本質は親睦の中から自己を研鑽し、奉仕の心を高めることにあります。毎週の例会に出席することで、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め、自己改善を図ることにあり、その結果として奉仕の心が育成されます。つまり、「入りて学び、出でて奉仕せよ」であり米山梅吉翁は「ロータリーの例会は人生の道場である」と言われております。

ロータリアンにとって一番大事なことは、自分が何故ロータリアンでいるのか、何故ロータリークラブに入っているのか、この忙しいのに、何故毎週1回の例会に出なければならぬのか。その理由をよく理解しておかなければならないことだと思います。この厳しい時代に、何故高い会費を払ってまでロータリアンでいるのか。この点が本当に理解できないと、ロータリアンであることの意味はないと思いますし、ロータリークラブの世界一高い会費は無駄になってしまいます。

ロータリアンは、忙しいからこそ毎週の例会に出るのです。暇だから例会に出るのではあません。忙しい人ほど、社会への影響力があり、ロータリーが必要となります。それは何故かという、ロータリーは、単なる寄付団体、慈善団体ではなく、『ロータリーとは倫理観を高めることを目的とする運動』すなわち『実力の涵養と人格の形成、これがロータリーの真の目的である』と言われています。寄付団体、慈善団体であれば、寄付や活動するときに集まればいいのです。毎週集まる必要はありません。従ってロータリーは知育の場ではなく、徳育の場ということになります。

ロータリーは職業人の集まりであり、職業人は自己の職業の継続的發展を一番に考えます。ロータリーでは職業の継続的發展は職業奉仕を实践する事と教えています。職業奉仕の实践とは世の為、人の為という奉仕の心をもって職業を営む事です。世の為、人の為を想うなら、まず自分の人間形成を図らなければなりません。それは、例会という場所であります。また、いくら例会で心を磨いても人間の心の浄化機能は一週間が限度です。だから、ロータリアンは心を磨きに週一度例会に集まるのです。

また、ロータリアンは、不況だからこそロータリー運動に参入しているのであり、不況なときほどロータリーが必要なのであります。何故かと言うと、ロータリー思想は不況期に強い哲学であり、職業奉仕を实践すれば、必ず自由競争社会を勝ち抜くことができるものだからであります。1923年からの世界大恐慌においてもロータリアンの企業は一つもつぶれなかったと言われています。其れは、職業奉仕を实践したからであり、すなわち自己に優先してサービスを行ったからであり、その実践例は沢山あり、その知恵の集大成を職業奉仕と言っているのであります。ロータリーを学ぶために費やされた時間は、未来への投資です。例会での学びを通じて一人でも多くのロータリアンがロータリーの心髄を理解し、職業奉仕を实践することにより、皆が共に榮えて行くことになるのではないかと思います。

あらゆる団体は、成長、発展、維持して行く為に会員の増強や維持に苦心しています。ロータリーも同様で、2630地区では前年度、232人が入会し、213人の退会者がありました。正直、年間200人以上の退会者の数に驚いています。又、日本のロータリーでは入会一年未満の会員のうち53%の人が退会していると言うショッキングなデータがあるそうです。退会の原因は、社会的要因、経済的な要因、人的要因、ロータリーそのものの要素、またクラブのあり方の要素が複雑に絡み合った結果だと思えますが、入会一年未満の会員の半数以上が一年以内に辞めて行くと言う事は、私はロータリーの価値、意義を見いだせず、ロータリーの指針、方向性を見失ってしまったからではないかと考えています。ロータリーの変革、混迷の時代には「ロータリーとは何か」と言う根本的な問いに真正面から向き合い、ロータリーの指針、方向性であるロータリーの理念、哲学を確立する事が最も重要ではないかと思えます。

ロータリーとは求めれば求めるほど何かを与えてくれる、得もいわれない魅力を持った組織であります。しかし、ロータリーから何か得ようとするれば、「人生をどういきるか」の「問い」を抱いて生きている事からしか得ることができないのです。ロータリーとは、人生をどう生きるか？生き方、生き様であると思えます。

佐藤千壽パストガバナーは「人生を生きるという事の意義を考えますと、生き方それ自体の中に奉仕があると言う事を発見する事になります。結論的に言いますと、立派な生き方をする事は、其れが

そのまま立派な奉仕であります。」と言われております。立派な生き方とは、ロータリーの目的の第3「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。」であると考えます。しかし、多くのロータリアンはロータリー哲学の追求に熱心でもなく、かといって奉仕活動の实践に熱心でもなく、財団に適当に寄付して、奉仕の免罪符とし、RIの動向には無関心で、単に楽しい、楽しいの例会であり、楽しくない、楽しくないでやめていく現状にあります。ことロータリーに関しては無関心であります。1983～84年度RI会長ウィリアム・スケルトン氏は、ロータリアンにとっての最悪の罪は、憎しみでも何でもない、同じロータリアンすることに無関心であることだと言っています。その最悪の罪を犯し始めているのです。多くの皆さんは、理屈は良いから、今のままの「親睦と相互扶助の社交クラブ」「同好会を核とした社交クラブ」で十分だという声が聞こえてきそうです。確かに日本のロータリーの現状は其れに近いものがあります。然しそれでよいものでしょうか。

昔から日本のロータリアンはロータリーとは人づくりの組織であるから、ロータリアンそれぞれが在籍する間にロータリアンフェイスを持ったロータリアンに育たなければいけない、そういう人間に育てることが人づくりとしての組織の使命であると言われてきました。ロータリーは人づくりであると考え、今在籍している皆様がロータリアンとしてどう有るべきか問いなしていただきたい、そしてロータリアンフェイスを持ったロータリアンになっていただいて、皆様の日頃の言動、背中によってリーダーシップを発揮出来るようなロータリアンになっていただきたいと私は思う訳であります。

最後になりましたが、1960～1961年エドマックロウリンRI会長のRIテーマを申し上げます。YOU A ROTARY あなたがロータリーです。ロータリーとは国際ロータリーでもロータリークラブでもありません。あなたの心の中にあるのです。これが、エドマックロウリンRI会長のRIテーマであります。私たちは背中を磨いてその背中によって人づくりが出来るような、地域社会、世界社会に貢献できるような人間的なロータリーにしなくては行けないのではないかと申し上げてスピーチを終わらせて頂きます。ご清聴ありがとうございました。

<ニコニコボックス>

●国際ロータリー第2630地区 直前ガバナー 剣田 廣喜 様

今日はスピーチの機会を与えていただきありがとうございます。どうかよろしくお願ひします。

●高山中央RC 岩垣津 亘さん

本日はお邪魔します、本年も皆様直しくお願ひします。

●米澤 久二さん、田中 正躬さん

①国際ロータリー第2630地区 直前ガバナー 剣田 廣喜 様のご来訪を歓迎いたします。スピーチよろしくお願ひ致します。

②高山中央RC 岩垣津さん、ようこそお越し下さいました。

●田近 毅さん、内田 幸洋さん、斎藤 章さん、田中 武さん、井辺 一章さん

垣内 秀文さん、住田 泰典さん、田邊 淳さん、大前 克秀さん
国際ロータリー第2630地区直前ガバナー 剣田 廣喜 様のご来訪を歓迎いたします。

●挾土 貞吉さん

剣田直前ガバナーのご来訪ありがとうございます。ご指導よろしくお願ひ致します、貴殿の息子さんの入会楽しみに待っています。今日は少人数で御免なさい。萱垣君、ご苦労さんでした。

●萱垣 敬慈さん

人生初のメイクアップをモスマンロータリークラブでして来ました。とても良い経験をさせていただきました。気持ちばかりのお土産を持って来ましたのでお持ち帰り戴ければ嬉しいです。

●松川 英明さん

グリーンホテル内の飛騨物産館がいよいよ2月1日10時に移転オープンを迎えます。従来よりも面積は小さくなりますが、アイテム数7,000以上は変わりません。1日～4日まで日替わりで先着300名様にもちょっとしたプレゼントを用意しておりますので、皆さん是非お立ち寄りください。

●田近 毅さん、堺 和信さん、下屋 勝比古さん、高桑 光範さん

ノエミが第28回高山市版画年賀状コンクール一般の部で優秀賞を受賞しました。祭りの獅子を大胆にデザインした素敵な年賀状です。おめでとう！ノエミ！

ロータリー：変化をもたらす